

静岡県社会体育施設指定管理者評価委員会による評価結果

令和7年9月25日
静岡県スポーツ・文化観光部
スポーツ振興課

1 趣旨

静岡県立水泳場、静岡県富士水泳場及び静岡県武道館については、令和5年度から第5期となる指定管理者による管理運営が行われています。

施設名	指定管理者	指定期間
静岡県立水泳場	静岡県スポーツ協会グループ	令和5年4月1日から 令和10年3月31日まで (5年間)
静岡県富士水泳場	静岡県富士水泳場マネジメントグループ	
静岡県武道館	静岡県スポーツ協会グループ	

これらの施設における管理運営が、利用者サービスの向上と管理経費の縮減という指定管理者制度の目的を達成しているか、また、公の施設として条例に掲げる設置目的の達成に貢献しているか等について、客観的な評価を行うため、第三者の委員からなる評価委員会を設置し、委員会による評価を行いました。

2 評価委員会の実施について

施設名	実施日	内容
静岡県立水泳場	令和7年8月25日	・指定管理者による事業実績説明 ・質疑応答 指定管理者による事業実績説明について質疑応答 ・意見交換及び評価 意見交換後、委員ごとに評価を実施 ・評価・講評 委員会としての評価の決定及び各委員からの講評
静岡県富士水泳場		
静岡県武道館		

(評価委員会) ◎=委員長、○=委員長代理

氏名	職名等	備考
佐藤 克昭◎	佐藤経済研究所所長	経済・経営/中小企業診断士
川口 良子○	合同会社 デザイン・アープ 代表	建築/施設管理
鈴木 寿子	静岡県スポーツ推進委員連絡協議会 副会長	体育施設利用有識者
前田 恭伸	静岡大学工学部教授	危機管理専門家
杉山 康司	静岡大学グローバル共創科学部教授	大学有識者/スポーツ経営学

3 評価について

以下の「評価の視点」「評価項目」に基づき評価を行いました。

評価の視点	評価項目		配点
○施設の管理運営を適切に行っているか ○競技力の向上及び指導者の養成を図るとともに、県民の健康増進とスポーツの振興に寄与しているか	①	経営管理	20
	②	管理運営体制	20
	③	利用者サービスの向上	20
	④	危機管理体制等	20
	⑤	求められる業務水準	20
計			100

4 年度評価結果について

評価区分は、「優」「良」「可」「要改善」の4段階で、各委員の採点の平均点に基づき決定しました。総合評価は各評価項目の得点の合計により決定しました。

施設名	静岡県武道館						
指定管理者名	静岡県スポーツ協会グループ						
評価	総合			優			
	評価項目別	評価項目	①	②	③	④	⑤
		得点	17	18	18	18	18
	評価区分	優	優	優	優	優	
内 容							
主な評価点：良いと評価した取り組み等 提言：改善や一層の努力を求めたい点等							
主な評価点	<ul style="list-style-type: none"> 大相撲やプロバスケットボールの有料試合を組合せて、効果的な利用料収入や観客数の増加が図られている。 清掃の徹底や、SNS等情報発信の充実、イベントの工夫など、利用者目線に立ったサービス向上を高く評価したい。 						
提言	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費の高騰に関し、省エネ設備への更新等、現場視点から抜本的対策を整理、提言へまとめるよう望みたい。 防災キャンプや武道体験など、グループのマーケティング力を活用した企画による利用促進、増収を図りたい。 						

(評価区分)

評価区分	基準	意味
優	配点の85%以上	大いに評価できる
良	同 70～85%未満	評価できる
可	同 50～70%未満	普通
要改善	同 50%未満	改善を要する

<発言> ●委員 ○指定管理者

【静岡県武道館】

- 大道場の有効活用を図る上で、定期的に利用する団体の確保など、企画力を発揮し安定的に利用収入を得られるようにしていただきたい。手がかりになるようなことはあるか。
- 具体的には難しいところもあるが、既に利用してもらっている色々な団体に継続してもらう。また自主事業も利用者ニーズにあった教室を実施したい。施設の稼働率は8割を超えているのでそれを維持し、参加人数・団体数の増加を目指し利用促進をしていきたい。
- 大道場の利用について、ほかの施設と比較して月別の利用者数や稼働率はどうか。空いているシーズンにどういったニーズで入れていくかが重要だと思う。
- 大きな大会、例えばベルテックスの試合を11月に行うが先々週に決定した。あとはウィンターカップなど季節的なものがある。県民の日や藤枝市のイベントもあるが、武道競技団体と常に確認しながら行っている。基本的に大会そのものは継続してやってもらえている。
- 中体連や高体連、ベルテックス、イベントはある程度時期が大体決まっている。それ以外のところで利用しやすいところなどの分析はないか。
- 夏休みは平日も含め大会が多い。そのため自主事業を抑え、利用しやすいようにしている。
- 教室も4～8月は空けている。その時期は大会や合宿が多く、教室のカリキュラムを変更している。一方で4月は昔から利用が伸びにくく、課題感がある。大道場・第1・第2道場など月毎にバランスを見て、広報などでうまく広げて平準化できれば。
- 大道場を学校や少年団などと連携してうまく開放できれば。防災キャンプなどは多くの人を集められるのでは。
- 熱中症の対策について、あらためて取り組んでいることはあるか。
- 職員用の危機管理マニュアルに定め、利用者への配慮として、温度・湿度計で施設利用者に冷房つけるよう助言や状況を伝えるなどしている。
- 自主事業について、応募が少ないものもあると思うが、内容は変わらないのか。
- 基本的には継続だが、バランスボールなど新しい教室も取り入れ、また人が減ってきている教室については休止している。
- 満足度が伸び悩んでいるようなので、色々と考えながら実施いただきたい。
- 空調や設備機器は建設時からこれまでに入替えはあったか。
- オーバーホールは行ったが、入れ替えはしていない。
- 建設時の設備を入替える場合、どのくらい省エネできるのか試算はしているか。
- 費用は電気をLEDにすることで1/10程度、また空調は消費電力が60～70%になる。
- 社会全体で省エネを図らないといけない上、エネルギーコストが高騰しているので、現場から整理した上で提言し進めていくことが望ましい。
- 指導者の育成が減ったが、カウントの仕方か。実態としてどういうことができているのか。
- 資格取得、資格レベルの向上、更新、技術的な研修を含め、指導者の競技力向上ができるようなものを指導者の育成としている。資格取得は全国組織でないとできないので、昇段試験などについてどう取り組んでいくか。武道館が拠点となって取り組めれば。
- 指導者育成の指針について説明があった方が良い。取り組んでいるところを見えるように。

- 更新等 WEB で可能になったことが苦戦の要因の一つ。何をもってというところは整理する。
- 利用者にとって口コミで広がるのが生命線だと感じる。指導者の資質向上も重要。
- ほかの施設含めどのようなエネルギーシステムにしていくのか。県の方も含めて検討を。